小児科プログラム

【研修内容・到達目標】

日本小児科学会の下「小児科専門医」制度が施行されている。卒後３年目以降の当科の研修内容は、２年間実施された初期研修をベースにさらなる種々の小児疾患を診療する事により小児科専門医が早期に取得できる研修体制がなされ、卒後６年目に取得可能を目標に置いている。

さらに、大学病院の特色の一つである、新生児医療はじめ、先天性代謝異常症、内分泌疾患、筋・神経性疾患、腎臓疾患、アレルギー性疾患等の臓器別スペシャリストを育成する体制、そして医学博士取得を目指す者には常勤の身分で研修を継続するとともに夜間開講の大学院生として研究を行い、４年後の医学博士取得可能な勤務体制も考慮した研修プログラムである。

よって、卒後６年目終了時に「小児科専門医証」及び「医学博士」が取得可能である。

【レジデント（卒後３～５年目）プログラム】

まず卒後３年目は小児科専門医の基礎作りと考えている。

午前中を中心に週３回の外来診療と病棟診療（一般病棟および新生児集中管理室）で入院患者平均５～７名を受け持つ事、また月４～５回の当直業務によりプライマリーケアから小児の三次救急までの高度先端小児医療が研修できる。当科は，広地域の小児三次救急機関としても位置付けられており、そこで求められるＰＩＣＵ（小児集中管理室）レベルの業務が研修でき、重症児の全身管理を行えるようになる。

種々の疾患を多数例経験するために公立及び私立の関連病院や診療所での出張研修も取り入れて一般診療能力の育成を計る。その意味でも種々の医療機関へのアルバイトも斡旋し診療能力アップはもちろんであるが、夜間や休日の日当直代に依存しない経済面での安定を維持する事も考慮している。

臨床研究としては、症例報告を発表し論文として纏める。

卒後４・５年目は、個別に将来ビジョンを話し合い、希望する領域を専門とする研修や開業医を目指した関連病院との連携による研修を行う。さらに特定機能病院やこども病院等の臓器別専門医として活躍する基盤作りのための研修期間でもあり、低出生体重児の管理、各種臓器不全児の管理、腎臓や肝臓臓器移植そして造血幹細胞移植などの高度先進医療なども行えるようになる。このように小児科専門医とさらに臓器別専門医も取得可能な事を目標に置いている。

臨床研究としては，選択したテーマについて臨床データを収集，解析し論文に纏める。さらに新たなデータを加えより深い内容のある論文を作成する。

上述したが医学博士取得希望者は大学院後半となるため博士取得のためのラストスパート期間ともなる。卒後５・６年目にあたる時期は研究成果の纏めの時間が取れるように一般勤務をシフト勤務とする。なお、卒後６年目は病院助教の待遇が予定されている。

【卒後３年目の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップのため、以下のいずれかのコースで他部署研修を、希望により行うことができます。

・ＮＩＣＵで６ヶ月間研修するコース

・ささやま医療センターで６ヶ月間研修するコース

【カンファレンス・症例検討会等】

毎朝午前８時30分から新規入院患者及び時間外患者について症例検討会が全員参加で開催される

そのほかの定期的な検討会及び勉強会は、下記の時間帯に行っている。この事により、アップデイトな広い知識を習得する能力と将来に亘り能力アップする姿勢が構築される。

月曜日　午後 5:00～6:00　腎疾患・内分泌代謝疾患カンファレンス
火曜日　午後 5:00～6:00　血液疾患・腫瘍カンファレンス
水曜日　午後 2:00～4:30　症例勉強会・総回診
　　午後 5:00～6:00　抄読会・勉強会
　　午後 6:00～7:00　筋・代謝・神経カンファレンス
木曜日　午後 5:00～6:00　周産期カンファレンス

【その他】

海外及び国内の研究施設での研究プログラムも整備している。７年目以降は助教として希望する領域の専門グループで臨床業務・研究・教育を行う。

当科のスタッフが理事および評議員として、また学会員として活動している国内の学会は、日本小児科学会、日本小児保健学会、日本小児科医会、日本外来小児科学会、日本先天代謝異常学会、日本小児内分泌学会、日本マススクリーニング学会、日本腎臓学会、日本血液学会、日本周産期・新生児医学会，日本未熟児新生児学会、日本アレルギー学会、日本内分泌学会、日本神経学会、日本小児腎臓病学会、日本小児腎不全学会等はじめ多数である。

【関連病院】（卒後３年目以降の臨床研修として派遣実績のある病院です）

兵庫医科大学ささやま医療センター、兵庫県立こども病院、国立成育医療センター、明和病院、宝塚市立病院、宝塚第一病院、西宮回生病院、ベリタス病院、協立病院、恵生会病院、聖和病院，上ヶ原病院、協和マリナホスピタルなど

【指導医】

主任教授：竹島　泰弘（指導責任者）

教　授：服部　益治	助　教：皆川　京子	助　教：川本　久美
助　教：田中　靖彦	助　教：福田　典子	助　教：柴田　暁男
助　教：下村　英毅	助　教：柴野　貴之	助　教：李　　知子
助　教：三﨑　真生子		

【研修統括者】

教　授：服部　益治

【問い合わせ先】

小児科：服部　益治
TEL：0798-45-6351　　E-mail：hat-ped@hyo-med.ac.jp